



CNニュースレター



2022年6月発行 vol.13

初めまして、千葉徳洲会病院、皮膚・排泄ケア特定認定看護師の越智久美子です。

資格を取得する前、仙骨部に大きな褥瘡をもった患者様が緊急入院されてきました。褥瘡と全身状態からこの褥瘡が患者様の状態を悪くさせていると経験から感じました。

どうやったら早く治すことができるのか？医師の力になることは出来ないのか？と考え、去年12月に皮膚・排泄ケア特定認定看護師の資格を取得しました。

皮膚排泄に関する専門的な学びや資格を得たことで、看護の側面からも治療について考え、医師と協働して治療を行うことができるようになりました。

また「特定行為」と呼ばれる医療行為を手順書という医師の指示のもと、看護師が行うことでより早く治癒に向かうお手伝いができるようになりました。

【認定看護師(CN:certified Nurse)とは】

公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた看護師のことを言います。



【認定看護師の役割】

- * 指導: 看護実践を通して看護職に対し指導を行う
- * 相談: 看護職等に対しコンサルテーションを行う
- * 実践: 個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践する

●なぜ特定看護師が必要なのか？

日本は2025年に、5人に1人が75歳以上という超高齢化社会を迎えます。医療資源の限界がある中、国は今後の入院医療の在り方の見直しと在宅医療への推進を目指しています。

病床数の削減や医師不足も懸念され、多職種連携など看護師の役割の拡大が期待されています。特定行為研修を修了した看護師は急性期から在宅医療などのさまざまな現場で、医師の到着を待たず、患者様の状況を見極めて、タイムリーな看護を提供することで患者様の症状悪化を回避できる可能性があります。

脱水を繰り返すAさんの場合

◆研修を受けるとこのようにかわります

特定行為：脱水症状に対する輸液による補正

